

【波多見小学校 4 年生（38 名）】

【環境学習】

- ◇ 日付：2018.6.29
- ◇ 講師：くれ環境市民の会会員（3 名）
- ◇ 内容：「わたしたちのくらしと環境」（呉市こども環境白書）を用いてごみ問題と 3R および食品廃棄物や食品の加工残渣をたい肥に加工するリサイクルについて学びました。



【土づくり】

- ◇ 日付：2018.9.7
- ◇ 講師：営農者（1 名）
- ◇ 内容：営農者より 1,800kg の食品加工残渣が 300kg のたい肥にリサイクルされたこと、また、たい肥を学校園に施用する方法を学びました。



【播種および発芽確認】

- ◇ 日付：2018.9.21、10.9
- ◇ 講師：営農者（1 名）
- ◇ 内容：営農者の指導の下、青首だいこん、寒地地だいこん（広島県お宝野菜）を播種しました。営農者には、発芽や生育の状態を確認いただきました。



【収穫】

- ◇ 日付：2018.11.27
- ◇ 講師：営農者（1名）
- ◇ 内容：営農者の指導の下、成長しただいこんを収穫しました。



【成果】

- ◇ 通常は焼却処分される重量 1,800kg のごみ（野菜の加工残渣や食べ残し）が、リサイクルされることで 300kg のたい肥に再資源化できるということを感覚的に学ぶことができました。
- ◇ また、たい肥の利用で野菜がりっぱに育つということから、化学肥料を使用しない環境にやさしい農業ができるということを学ぶことができました。

【広南小学校4年生（18名）】

【環境学習・土づくり】

◇ 日付：2018.10.26

◇ 講師：営農者（1名）

◇ 内容：フォーラム会員企業（株式会社フレスタ）より提供いただいた野菜くず 50kg をたい肥として利用する方法を学び、実践しました。





【播種】

◇ 日付：2018.12.13

◇ 講師：営農者（1名）

◇ 内容：営農者の指導の下、スナッフえんどう、一寸蚕豆（広島県お宝野菜）を播種しました。



【成果】

◇ スーパーで日々ごみとなる野菜くずの量の多さと、通常は産業廃棄物として処分されるごみをリサイクルすることでたい肥に再資源化できるということを感覚的に学ぶことができました。

◇ また、刈り取った雑草を土にかぶせることによって土の保温に役立つこと、また、微生物が雑草を分解してたい肥になること等、様々な利用方法を学ぶことができました。

【至心保育所（24 名）】

【土づくり・おやつづくり】

◇ 日付：2019.1.24

◇ 講師：営農者（1 名）

◇ 内容：フォーラム会員企業（株式会社フレスタ）より提供いただいた野菜くず 20kg で菌ちゃん（微生物）が元気になる土づくりを学びました。

また、ロケットストーブでマシュマロを焼いて食べました。



【土づくり（切り返し）】

◇ 日付：2019.1.30

◇ 講師：営農者（1名）

◇ 内容：菌ちゃん（微生物）の働きによって野菜くずが分解されることや分解された野菜が菌ちゃんの栄養になって菌ちゃんが増えていることを学びました。

また、ロケットストーブで冷たくなった手を温めることができました。



【成果】

◇ 野菜が元気に育つには菌ちゃん（微生物）のはたらきが大切である、ということを教わったうえ、その菌ちゃんが活発にはたらくためには、菌ちゃんのえさが必要であることも学びました。そのうえで、菌ちゃんのエサになるよう野菜くずを利用する方法を学び、みんなで力を合わせ菌ちゃん土づくりに取り組みました。また、1週間後、菌ちゃんが元気に育っていることを綿状になった菌ちゃん（糸状菌コロニー）を観察することで体得できました。

◇ ロケットストーブを利用したおやつ作りや、ストーブごっこで、屋外での新たな活動を楽しむことができました。

【今後の課題】

◇ 予定していた地域交流が時機的に開催できなかったため、今後は、収穫の時期に見合った開催日程を検討することとしたい。

◇ こうした活動の水平展開を促進させるため、フォーラム会員企業に活動への参加の呼びかけをすることとしたい。

購入品

【濃縮たい肥（15kg×20袋）】

◇ 購入日：2018.9.7



【ロケットストーブ】



くれ環境市民の会主催イベントで製作

◇ 製作日：2019.1.19

【ピザ窯外観】



ロックボーター

調理天板



煉瓦台座用鉄板